

町田市における放射能対策の強化を求める請願

【請願要旨】

福島第一原発事故を受け、町田市内でも高線量のマイクロホットスポットが発見され、除染が行われてきましたが、マイクロホットスポットの発生は一過性の現象ではないため、原発事故によって放出された放射性物質が環境中を循環することによる二次汚染によって更に生み出されていくことが心配されます。

そうした二次汚染による被害拡大を防ぐために、放射線への感受性が強い子どもたちが一日の多くを過ごす幼稚園、保育園、学校、公園、道路側溝等における線量の計測・情報公開・除染の体制を強化し、市民が安心して日々の生活を送ることができる様、雨どいの下や道路側溝の土などにたまる放射能の危険性を市民に訴えたり、空間計測器を貸し出すこと等によって市民を放射能被害から守るサポートを積極的に行っていくことが早急に求められます。

食品の基準値も暫定的なものから見直されることを受けて、学校給食における検査機会を増やしたり、放射性物質の濃縮特性を持つ牛乳の検査の徹底、食品の測定器を2台、3台と複数配置する国分寺市、飯能市のように、町田市独自で購入する食品測定器を保健所等に導入することで、食品の放射能検査体制をより強化し、徹底していくことは急務の課題です。

また、放射能は市民の健康と密接に関わる問題であるため、心配する市民の声に耳を傾ける放射能問題相談室を行政内に設け、市としてこの問題に真剣かつ真摯に取り組んでいくことが何よりも求められています。

【請願項目】

1. 放射線への感受性が強い子どもたちが一日の多くを過ごす幼稚園、保育園、学校、公園、道路側溝等における線量の計測・情報公開・除染の体制を強化してください。
2. 放射線被害から市民を少しでも守ることができるように、放射能の危険性（雨どいの下、道路側溝にたまる土等）の更なる広報と空間計測器の貸し出しを行ってください（他市町村で貸し出しが広がっている）。
3. 学校給食における検査機会の増加、牛乳検査の徹底、保健所等に食品測定器を導入すること等により、食品放射能検査体制を更に強化してください。
4. 心配する市民の声に耳を傾ける放射能問題相談室を行政内に設け、市として放射能問題に真剣かつ真摯に取り組む体制を強化してください。